



2024～25 年度国際ロータリー・テーマ
RI 会長：ステファニー A.アーチック（米国）

鹿屋西ロータリークラブ週報

WEEKLY REPORT

NEWS

<https://kanoya24-rc.synapse.kagoshima.jp>

ROTARY 第2129回



2025 年 4 月 14 日

◆会務報告

1. 感謝状及び法人申告用領収証送付（米山）
2. 例会場変更のお知らせ（都城西 RC）
3. 鹿児島地区 RYLA 開催のご案内
日時：2025 年 5 月 25 日(日)10：30～
場所：アマホームプラザ（奄美市）
4. 書類の送付について（鹿屋市国際交流協会）
5. ハイライトよねやま Vol.301
6. 風の便り Vol.10 No.9
7. 郵便料金の改定に伴う残高証明書発行手数料改定のお知らせ
8. 指宿ロータリークラブ 60 周年記念企画
指宿子ども食堂「そらまめ食堂」のご参加のご案内

日時：2025 年 6 月 15 日(日)11：30～13：30

場所：はくえい新建材店（指宿市）



入会式



中吉奈津美さん（社会奉仕・親睦）



◆4月誕生者祝

遠矢達一さん



◆4月メモリアルデー祝

野田敬一さん
鶴丸秀治さん
中間いく代さん



◆出席表彰

王谷英仁さん
（6 年皆勤）



会長の時間

会長 鶴丸秀治さん

皆さんこんにちは。今月のロータリー特別月間は「環境月間」です。今回、「ロータリークラブ 環境月間」で検索して色々調べましたが納得行くものが見つかりませんでした。そこで、環境問題の中でも「水」について分かりやすい動画を見つけたので発表したいと思います。

地球上のすべての生命にとって不可欠な「水」。しかし、世界では安全な飲み水を得られない人々がいまだに数多く存在し、また気候変動の影響で干ばつや洪水といった水に関する災害も増加しています。水は「限りある資源」でありながら、その存在のありがたみをつい忘れがちなものです。

ロータリーが取り組む「環境保全」の中でも、水の保全と持続可能な利用は極めて重要なテーマです。水を守ることは、人の命を守ること、そして地域社会を守ることに繋がります。

そのため、私たちはこの環境月間に、「水」に目を向け、今自分たちにできる行動を考えるきっかけにしたいと考えました。それでは御覧下さい。

次回プログラム		
5 月 12 日（月）		
卓 話 者：	久木田 弘 さん	
担当委員会：	会長エレクト	
3分間スピーチ：	山下 俊也 さん	
出席報告	会 員 数	(39)40 名
	出 席 数	30 名
	出 席 率	76.92 %

メイクアップ情報			
鹿 屋	04月23日	(土)	ホテルこばやし
かのや東	04月24日	(木)	かのやランドホテル
串 良	04月21日	(月)	セントロランド 道の駅
志 布 志	04月22日	(火)	大黒本店
き も つ き	04月24日	(木)	高山温泉ドーム 第4週：例会なし
南九州大崎	04月24日	(木)	セントロランド
志布志みなと	04月23日	(木)	春月地区公民館 例会19：30～

鹿屋西ロータリークラブ	
会 長：	鶴丸 秀治
副会長：	王谷 英仁
幹 事：	假屋 博行
例会日 月曜日 12:30～13:30	
例会場	ホテルさつき苑 TEL:40-1212
事務局	〒893-0064 鹿屋市西原1丁目9-10
	桜さつき苑内 TEL:44-5811 FAX:41-1959
E-mail	kanoya24@po5.synapse.ne.jp



3分間スピーチ

北山 勉さん

退職代行業

本日の3分間スピーチは、不可思議な仕事について話をさせていただきます。ご存じの方もいらっしゃるかと思います、退職代行業についてです。



昨年、一本の電話が総務にかかってきました。「〇〇さんの退職について、代行手続きをさせていただきます」という内容でした。

当社にとって、創業68年で初めての経験でした。入社して日の浅い従業員で、普通に問題なく仕事をしていたようでした。総務の担当者からは、「なんで自分から言えないの?」「短期間でしたが、お世話になりましたぐらい言えないの?」という、至極まっとうな疑問でした。

しかも代行料が数万円かかるらしいです。今まで、従業員が退職する際、参考のために理由は聞いても、強引な引き留めなどはしてないし、就業規則の手続きに則って進めているわけですから。

そのような経験があって、最近ニュースでこの退職代行業の話題が取り上げられていました。

長期間の正月休みが明けて、この退職代行業が忙しいという話題でした。又、こんな話題も取り上げられていました。ある退職代行業者の社長が、自分のところの従業員が他社の退職代行会社において退職があったと。この社長が、あえて、このようなことを公表されたということは、退職代行会社に疑問を投げかけられることが多いからで、当たり前のことになったとおっしゃったのではないかと思います。

このような仕事が成り立っているということは、どのように考えたら良いのか理解に苦しみます。

言い出しにくいからなのか。面倒だからなのか。割り切っているからなのか。いずれにしても、このような若い世代が増えていることは、事実なようです。

今、ロータリーでは、DEI(多様性、公平性、包摂性)の推進が叫ばれていますが、このDEIの多様性に、もう一つ価値観の異なる新世代も付け加えるべきかと思うところです。

次に、昨年、南九州では、大きな地震があり南海トラフ大地震の注意報がでるなど緊張が走りました。又、1月にも余震で緊急地震速報のアラートが鳴り身構えをしたところでした。アラートが鳴っても具体的な行動はなかなか起こせませんが心構えという準備だけは出来そうです。

世界の動きもトランプさんが2期目の大統領に就任し分断と混乱を引き起こしつつあるようで、何が起きても不思議でない状況にあるようです。

そのような環境下、先ほどの価値観の異なる新世代や地震アラートではないですが、常にあらゆることを想定して心構えと準備だけはしておいた方が良いでしょう。

以上で3分間スピーチを終わります。



会員卓話

志村正子さん

児童虐待について

児童虐待の定義

児童虐待の防止等に関する法律

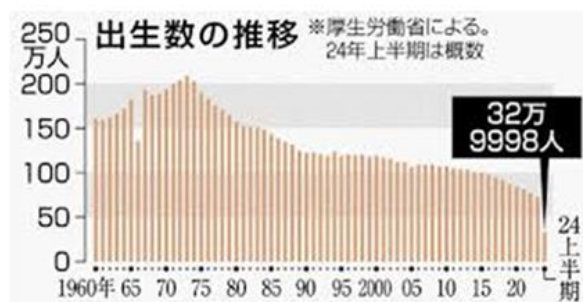
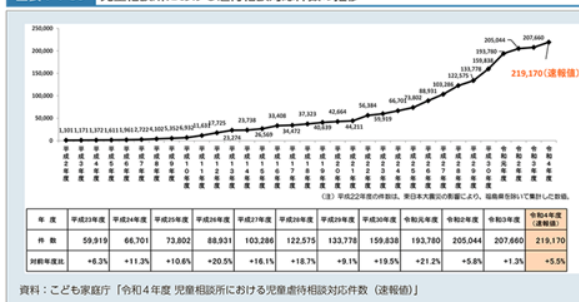
(平成12年法律第82号):2000年

最終改正:平成19年6月1日法律第73号

- 身体的
- 性的
- ネグレクト
- 心理的



図表 1-1-39 児童相談所における虐待相談対応件数の推移



<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/gyousei/222/dl/gaikyo.pdf>

要約

- 児相における相談は過半が養育相談、次いで障害相談
- 養育相談の大部分が児童虐待
- 児童虐待件数は21万件を超えている
- 内訳では心理的虐待が最も多い(面前DVを含む)
- 次いで身体的虐待、ネグレクトが多く、性的虐待もある
- 加害者は実母・実父が多い
- 21万件を児童人口(約1435万人)で割ってみると、1.46%

アメリカでは

- [アメリカ | 数字で見る、世界各国の児童虐待の対応の状況 | 研究 | 子どもの虹情報研修センター](#)

要約と記憶

- 近年横ばい
- 児童人口当たり、通告 5.5or 受理 3.0%、実証・示唆されたは、0.9%
- 内訳では、ネグレクト 2/3、次いで身体的、性的、心理的
- ジンクス: アメリカで起きたことは10年後に日本

でも起きる

- ・NHK特集「赤ちゃん」(1980年近辺)での鈴木健二アナの言葉:「日本では子供虐待がありません」
- ・江戸時代に日本に来た外国人(宣教師など):「日本では子供がとても大切にされている」
- ・海外在住歴の長い人の驚き:「日本は子供だけで登校させている!」(いかに安全か)

虐待の影響

◆身体・知能

- ・さまざまなケガ、やけど、骨折、脱水症、ひどい場合は重度の後遺症や死亡
- ・栄養失調、愛情不足による発育不良(低体重・低身長)
- ・知的発達の遅れ
- ・性感染症にかかる、妊娠するなど

◆感情・精神面

- ・自己評価が低く、自信や自尊心がもてない
- ・人の顔色をうかがう、おびえた表情をみせる
- ・表情がぎこちない、感情を表さない
- ・気分が変わりやすく、すぐに怒ったり、パニックになったりするなど

◆行動・対人関係

- ・年齢相応の生活習慣を身に付けていない
- ・人間関係がうまく築けない
- ・すぐに暴力をふるう、わがままや自分勝手な態度、極端にベタベタと甘える
- ・家出、盗み、いじめなどの問題を起こす事もある
- ・自分が親になった時に虐待を繰り返してしまうこともあるなど

◆感情面・行動面など多岐にわたる障害の発症

子ども虐待の結果生じる愛着障害には、発達障害に非常に類似した症状が認められます。特に、感情や衝動性のコントロールができないことから幼児期には、注意欠陥多動性障害(ADHD)とわかってしまう事もあります

◆感情麻痺や解離(かいり)

同じような情景、人の記憶、色、においなどが引き金になり恐怖を覚え、おびえ、感情麻痺や解離(かいり:意識の不連続)などを示すことがあります。解離は、幻覚・幻聴を引き起こしたり、無意識の自傷行為、性的挑発行動、衝動的に乱暴する行為や意識と記憶の途切れのため、愛着関係の修復の障害となることがあります。

◆性的虐待による障害

愛着の対象者からの性的虐待は、加害者から「逃がたい」という気持ちと「愛されたい」という気持ちが重なり合って、もっとも混乱する出来事です。また子どもは、秘密を守るように押し付けられた責任と秘密をもつ罪悪感にはさまれて助けを求めることができず、大変な孤立感、孤独感、自責感に陥つ

たり、かえって受け入れられず何も無かったかのように振る舞ったりします。

体罰や言葉での虐待が脳の発達に与える影響

友田 明美

福井大学子どものこころの発達研究センター 教授
友田 明美(ともだ あけみ)(日本心理学会機関紙
心理学ワールド 2018年80号)

図1 虐待経験者の脳皮質容積変化

高解像度MRI画像(voxel based morphometry: VBM法)による、小児期にさまざまな虐待を受けた若年成人と健常対照者との脳皮質容積の比較検討。



両親のDV目撃による脳への影響

夫婦間のDVを目撃させる行為が心理的虐待の一つにあたることが、児童虐待防止法でも定義されている。DV曝露を受けた子どもにはさまざまなトラウマ反応が生じやすく、知能や語彙理解力にも影響があることが知られている。筆者らの検証でも、DVを平均4.1年間目撃して育った人は、視覚野(ブロードマン18野:舌状回)の容積が平均16パーセント減少していた(Tomoda et al., 2012)。

また悪い影響が一番出やすい時期は、11歳~13歳であることがわかった。さらに、DVには殴る・蹴るなどの身体的暴力だけでなく、罵倒するなど言葉の暴力もあるが、こうした「言葉によるDV」を目撃してきた人のほうが、身体的DVを目撃した人より、脳のダメージが大きかった。具体的には、視覚野の一部で夢や単語の認知に関係する舌状回の容積が、身体的DVは3.2パーセントの減少に対して、言葉によるDVでは19.8パーセントの減少と6倍にもなっていた。

さらに複数のタイプの虐待を受けた場合、脳へのダメージはより複雑になり、深刻化する。よって、非身体的虐待と身体的虐待を分けるのはナンセンスであろう。

別の調査でも、身体的虐待・精神的虐待とトラウマ反応との関連を調べるとDV目撃の深刻な影響が明らかになっている(Polcari, 2014; Teicher et al., 2006)。

解離症状をはじめとするトラウマ反応が最も重篤なのが、「DV目撃と暴言による虐待」の組み合わせだった。つまり、身体的虐待やネグレクトを受けた人よりも、親のDVを目撃し、かつ自分も言葉でののしられた人のほうが、トラウマ症状が重篤であった。

脳の傷は決して治らない傷ばかりではない。環境や体験、ものの見方や考え方が変わることで脳も変化する。子どもの脳は発達途上であり、可塑性という柔らかさ

を持っている。早いうちに手を打てば回復するであろう。そのためには、専門家によるカウンセリングや解離に対する心理的な治療、トラウマに対する心のケアを、慎重に時間をかけて行っていく必要がある。

トラウマによる傷つきが回復するのに必要なことは、子どもでも大人でも、基本的に同じである。安心・安全な環境、自分に起きていることへの理解(心理教育)、過去の体験と感情を安全な場で表現する、そして健康に生きるためのライフスキルを習得することが重要である。

主な治療としては、トラウマ処理や愛着形成のための心理療法やプレイセラピーである。内的世界を表現することによる自己治癒力の活性化、必要に応じた薬物療法などの有用性も示唆されている。

トラウマと関係が深いと言われる「慢性疲労症候群」の成人患者に認知行動療法を行ったところ、9ヵ月前頭前野の容積が増加したという結果が報告されている(deLange et al., 2008)。まさに脳の可塑性、つまり復元力をもつ柔らかさがそれを可能にする。だからこそダメージからの回復は可能と考えている。ちなみに母子分離された子どものラットはストレス耐性が低くなるが、その後十分な養育環境の中に移すと、ストレス耐性が回復することも報告されている。この点を踏まえて、被虐待児たちの脳の異常も多様な治療で改善される可能性があると考えられる。

近年、人生の最初期における愛着形成、信頼の形成が人間の発達にとって決定的に重要であるとの認識が広まっていることはとても意義深い(Suzuki & Tomoda, 2015)。というのは、そこから生まれてくるのは子どもたちに対する視点だけではなく、同時に、親になった者たちの困難さにも寄り添うことにつながるからだ。

少子化・核家族化が進む社会の中で、育児困難に悩む親たちは容易に支援を受けることができず、ますます深みにはまっていく。養育者である親を社会で支える体制は、いまだ乏しいのが現実である。そういう意味では、虐待を減少させていくためには、一つの職種だけではなく多職種と連携し、また、子どものみならず親たちとも信頼関係を築き、根気強く対応していくことから始めなければならない。

異世代間の児童虐待(いわゆる世代間連鎖)の発生率を予測した報告(Oliver, 1993)では、子ども時代に虐待を受けた被害者が、親になると子どもに虐待を行う傾向が指摘されている。被害者のうち、自分の子どもに対して日常的に虐待する者がおよそ3分の1で、普段問題はないがいざ精神的ストレスが高まった場合に自らの子ども時代と同様に、今度は我が子に対して虐待する者が3分の1いると見積もられている。一連のエビデンスについての理解が、大人が責任をもって子どもと接することができる社会を築き、少しでも子どもたちの未来に光を当てることができればと願っている。

入り口近くに置いてあったチラシ

- ・「子供への暴力をなくすために～おとなのわたしたちができることを一緒に考えませんか～」
- ・講師：せんだいCAP
- ・CAPとは、Child Assault Prevention(子供への暴力防止)
- ・(2025,2,22 実施済み) 主催：DV被害者支援の会 アミーチ(早川雅子会長)

五月に予定されている県士会講師

増沢 高(ますざわ・たかし)先生

子どもの虹情報研修センター 副センター長・研究部長。公認心理師、臨床心理士。1986年、千葉大学大学院教育学研究科教育心理修士課程修了。児童心理治療施設「横浜いずみ学園」でセラピスト、同学園副園長を経て、2002年より子どもの虹情報研修センターに研修課長として勤務。

- ・子どもの虹情報研修センター 副センター長・研究部長。明治大学大学院文学研究科 兼任講師、全国児童養護施設協議会中央推薦常任協議委員、全国乳児福祉協議会中央推薦常任協議委員、一般社団法人 日本子ども虐待防止学会(JaSPCAN) 副理事長。

可能性について改めて考える

- ・虐待による萎縮が知られる海馬は、記憶機能を担い、神経細胞の再生が知られるところ
- ・適正な環境・経験により、脳では新たなつながり直しが、心理面では信頼の回復等が可能と思われる
- ・親が虐待に陥るのを防止し、陥った親を支援する取り組みが必要



◆スマイル報告

〈6件〉

- 結婚記念祝頂きありがとうございます。45年になります。…………… 野田
- 出席表彰ありがとうございます。中吉さんロータリー活動がんばりましょう。…………… 王谷
- お誕生祝の品ありがとうございます。中吉さん入会おめでとうございます。…………… 遠矢
- 結婚記念日でした。42周年です。ロータリーがないと記念日も思い出せませんので感謝です。… 鶴丸
- メモリアルデーのお祝いありがとうございます。…………… 中間
- 中吉さん入会おめでとうございます。一緒に「ロータリーライフ」を楽しみましょう!…………… 滝本
- 本日のニコニコBOXスマイルは2,434円です。

本日計 28,000円 累計(一般) 238,000円
(財団) 155,825円 (米山) 182,158円

***** ありがとうございました *****



週報担当: 志村